

四年生 国語編

○五十音、および五十音図について、次の問いに答えましょう。「行」を答える場合は、「ア行」のように、カタカナで答えましょう。

(一) 清音の一部がぬけている行をすべて答えましょう。

正解←ヤ行とワ行

(二) 濁音のある行をすべて答えましょう。

正解←カ行とサ行とタ行とハ行

(三) 半濁音のある行をすべて答えましょう。

正解←ハ行

(四) 拗音のない行をすべて答えましょう。

正解←ア行とヤ行とワ行

※清音、濁音、半濁音、拗音とはなんでしょうか？思い出すまたは覚えていきましょう。
清音とは、五十音のこと。あ、い、などですね。

濁音とは、点がついているもの。が、ば、などですね。

半濁音とは、丸がついているもの。ぱ、ぽ、などですね。

拗音とは、半濁音＋小文字がついたもの。ぴゃ、ぴよ、などですね。

○例にならって、「五十音図」を使った次の「足し算」のできる言葉をカタカナで答えましょう。

例：カ行・ア段＋カ行・イ段＝カキ

(一) タ行・ア段＋ナ行・ウ段＋カ行・イ段＝???

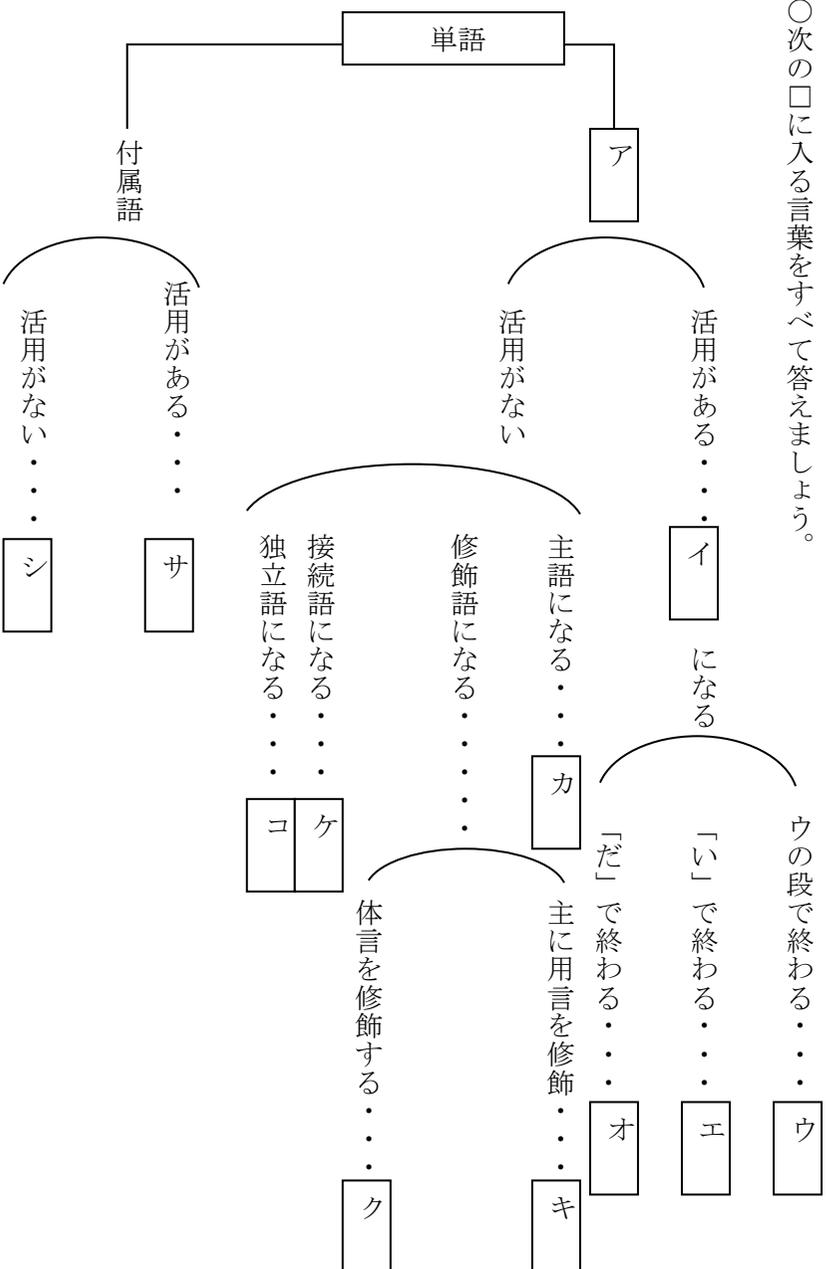
正解←タヌキ

(二) タ行・エ段＋ラ行・エ段＋バ行・イ段＝???

正解←テレビ

五年生 国語編

○次の□に入る言葉をすべて答えましょう。



※この表をうめるのはもちろんのこと、これらのことを踏まえながら文章問題を解くことが多いので、確実に身につけておきましょう。

解答

- ア←自立語
- イ←用言(述語)
- ウ←動詞
- エ←形容詞
- オ←形容動詞
- カ←名詞
- キ←副詞
- ク←連体詞
- ケ←接続し
- コ←感動詞
- サ←助動詞
- シ←助詞

六年生 国語編

○次のそれぞれの文中の傍線部のかなづかいが正しければ○、まちがえていれば×にし、正しい答えを書きましよう。

- (一) おそろしくて、命がちぢむような思いをした。 正解←× ちぢむ
- (二) 温暖化のため、南極のこおりが解け始めている。 正解←○
- (三) この問題は、私にはとてもむずかしい。 正解←○
- (四) いなかの祖母からこづつみがとどいた。 正解←○
- (五) 表どうりは、今日も買い物客でにぎわっている。 正解←× どおり
- (六) ぢしんにそなえて食糧を貯蔵する。 正解←× じしん
- (七) おおやけの場での礼儀作法を身につける。 正解←○
- (八) いもおとを連れて、図書館に行った。 正解←× いもうと
- (九) 友人は不在だったので、ことづてをたのんだ。 正解←× ことづて
- (十) 法律にもとづく判断に従う。 正解←○
- ① 旅先からおとおさんとおかあさんに手紙を書いた。 正解←× おとうさん
- ② 決勝戦の日がまじかにせまった。 正解←○
- ③ 夏休みに、古都・奈良をおとづれました。 正解←× おとづれ
- ④ 箱の中にもちやをほおりこんだ。 正解←× ほおりこんだ
- ⑤ みかんのかんづめをいただきました。 正解←× かんづめ

○次の1～15の傍線部を漢字に直しましよう・必要ならば送り仮名もつけること。

- 1、あやういところで助かった。 正解←危うい
- 2、おさない弟の手を引く。 正解←幼い
- 3、健康をそこなう。 正解←損なう
- 4、無駄に時をついやす。 正解←費やす
- 5、ただちに出発せよ。 正解←直ちに
- 6、東の空があからむ。 正解←明らむ
- 7、かならず返事を下さい。 正解←必ず
- 8、ほがらかに歌う。 正解←朗らかに
- 9、おごそかに儀式が始まる。 正解←厳かに
- 10、ことなる意見を尊重する。 正解←異なる
- 11、あぶない橋を渡る。 正解←危ない
- 12、老いた両親をやしなう。 正解←養う
- 13、燃料をおぎなう。 正解←補う
- 14、田畑をたがやす。 正解←耕す
- 15、味方のあいずを待つ。 正解←合図

※ここまでの内容は、ミスはあっても1問程度にしまししよう。漢字では落とさない！ここを満点で行くかどうかは、受験の中でもかなり大事になってきます。